

令和3年度は、新たに策定した「藤沢市民病院健全経営推進計画」（令和3年度～令和6年度）の1年目になります。新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、協定に基づく確保病床を災害フェーズの40床まで拡大したり、院内クラスターの発生や職員の感染等で病棟閉鎖を余儀なくされた時期もありました。そうした中で高度医療機関及び重点医療機関協力病院等として重症・中等症患者の治療にあたりながら、持続可能な病院経営を維持するための4つの指針に基づいて戦略項目を設定し、取組を進めました。

1 収支計画

経常収益は新型コロナウイルス感染症への対応に伴う補助金（以下「補助金等」という）の収入を含めると、計画値に比べ1,747百万円（8.3%）の増収となりました。また、経常費用は計画値に比べ421百万円（1.9%）の減少となり、事業収支は1,093百万円となりました。患者数は前年度と比較して増加し、入院及び外来収益も大幅に増加しましたが、費用においては材料費、経費は増加したものの医業損失は前年度と比べ減少したうえ、補助金等の交付を受けたことにより最終的に純利益を計上しました。

(1) 収益的収支

(単位：百万円)

区分	令和3年度			令和4年度 計画	令和5年度 計画	令和6年度 計画	事業目標
	計画	実績	実績-計画				
経常収益	21,064	22,811	1,747	21,508	21,661	21,816	22,138
入院収益	13,218	12,358	▲ 860	13,666	13,775	13,916	14,118
外来収益	5,401	5,832	431	5,440	5,455	5,469	5,482
一般会計繰入金	1,531	1,490	▲ 41	1,422	1,422	1,422	1,530
その他	914	3,131	2,217	980	1,009	1,009	1,008
経常費用	21,868	21,447	▲ 421	21,982	21,959	21,976	21,911
給与費	10,508	10,232	▲ 276	10,666	10,666	10,666	10,630
材料費	5,385	5,420	35	5,547	5,582	5,625	5,625
経費	3,873	3,723	▲ 150	3,740	3,759	3,777	3,740
うち委託料	2,678	2,605	▲ 73	2,505	2,505	2,505	2,438
減価償却費	1,552	1,551	▲ 1	1,494	1,417	1,377	1,377
その他	550	521	▲ 29	535	535	531	539
経常収支	▲ 804	1,364	2,168	▲ 474	▲ 298	▲ 160	227
特別損益	▲ 127	▲ 271	▲ 144	▲ 127	▲ 127	▲ 127	▲ 127
事業収支	▲ 931	1,093	2,024	▲ 601	▲ 425	▲ 287	100

(2) 資本的収支

(単位：百万円)

区分	令和3年度			令和4年度 計画	令和5年度 計画	令和6年度 計画
	計画	実績	実績-計画			
資本的収入	272	471	199	368	398	398
企業債	141	141	0	200	200	200
一般会計繰入金	131	131	0	168	198	198
その他	0	199	199	0	0	0
資本的支出	1,361	1,498	137	1,419	1,531	1,527
建設改良費	692	829	137	742	786	794
うち施設整備費	187	124	▲ 63	150	200	210
うち固定資産購入費	505	705	200	592	586	584
企業債償還金	669	669	0	677	745	733
差引	▲ 1,089	▲ 1,027	62	▲ 1,051	▲ 1,133	▲ 1,129

(単位：百万円)

区分	令和3年度			令和4年度 計画	令和5年度 計画	令和6年度 計画
	計画	実績	実績-計画			
未処理欠損金	6,004	3,552	▲ 2,452	6,605	7,030	7,317
現金預金残高	4,284	5,556	1,272	4,078	3,973	3,970
企業債未償還残高	11,573	11,481	▲ 92	11,096	10,551	10,018

2 数値目標

経営目標については、医業収支比率は88.6%となり、計画値と比べ0.6ポイント減少しましたが、経営の健全性を示す経常収支比率は、補助金等の交付や患者数の増加等により106.4%となり、計画値に比べ10.1ポイント増加しました。しかし、病床確保に対する補助金等を除くと100%を大きく下回るため、今後補助金が廃止されたときの収益確保が大きな課題です。その他の指標は材料費比率が計画値を0.9ポイント上回った以外は、計画値とほぼ同水準となりました。

業務量目標については、新入院患者数は回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の拡大で同患者の受入病床確保や手術の延期等を行ったことにより計画値を2,032人下回り、コロナ禍以前である令和元年度までには至りませんでした。1日当たり平均外来患者数は計画値・前年度ともに実績を上回り、コロナ禍以前の数値に近づきつつあります。診療単価については、入院・外来ともに計画値・前年度実績を上回りました。

救急医療や周産期医療、その他機能強化に関する手術件数や地域医療連携における数値目標は、患者の受入制限の影響で伸び悩み計画値を下回りましたが、前年度の実績を上回っており、回復傾向が見られます。

満足度目標については、入院患者満足度総合評価は計画値・前年度実績を上回りましたが、外来患者満足度総合評価は計画値・前年度実績をともに下回りました。

数値目標

区分	項目	単位	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	事業目標		
			計画	実績	実績-計画	計画	計画	計画			
経営目標	1 経常収支比率	%	96.3	106.4	10.1	97.8	98.6	99.3	101.0		
	2 医業収支比率	%	89.2	88.6	▲ 0.6	90.9	91.6	92.2	93.5		
	3 職員給与費比率	%	55.0	55.0	0.0	54.5	54.1	53.7	53.0		
	4 材料費比率	%	28.2	29.1	0.9	28.3	28.3	28.3	28.0		
	5 委託費比率	%	14.0	14.0	0.0	12.6	12.6	12.5	12.0		
	6 減価償却費比率	%	8.1	8.3	0.2	7.6	7.2	6.9	6.9		
業務量目標	入院	7 新入院患者数	人	16,790	14,758	▲ 2,032	17,155	17,202	17,155	17,520	
		8 平均在院日数	日	10.4	10.3	▲ 0.1	10.4	10.4	10.4	10.2	
		9 病床利用率 (536床ベース)	%	89.4	77.8	▲ 11.6	91.2	91.2	91.2	91.3	
		10 入院診療単価	円	75,600	81,205	5,605	76,600	77,000	78,000	79,000	
		1日当たり新入院患者数	人	46	40	▲ 6	47	47	47	48	
		入院延患者数	人	174,835	152,186	▲ 22,649	178,412	178,901	178,412	178,704	
	外来	11 1日当たり平均 外来患者数	人	1,240	1,292	52	1,230	1,220	1,210	1,200	
		12 外来診療単価	円	18,000	18,656	656	18,200	18,400	18,600	18,800	
		外来延患者数	人	300,080	312,629	12,549	298,890	296,460	294,030	291,600	
		13 紹介患者数	人	24,090	20,042	▲ 4,048	24,614	24,681	24,614	25,137	
		14 逆紹介患者数	人	20,124	16,248	▲ 3,876	20,562	20,618	20,562	20,999	
		15 救急車搬送患者数	人	9,300	8,598	▲ 702	9,300	9,300	9,300	9,300	
		16 手術件数	件	6,500	5,437	▲ 1,063	6,500	6,500	6,500	6,500	
		17 全麻・全硬麻手術割合	%	65.0	72.1	7.1	66.0	67.0	68.0	68.0	
		18 分娩件数	件	669	568	▲ 101	700	700	700	700	
		満足度目標	19 外来患者満足度総合評価 (概ね満足以上の割合)	%	82.5	79.8	▲ 2.7	83.5	84.5	85.5	90.0
			20 入院患者満足度総合評価 (概ね満足以上の割合)	%	90.0	91.9	1.9	91.0	92.0	93.0	95.0

項目	単位	令和3年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度	事業目標
		計画	実績	実績-計画	計画	計画	計画	
入院診療日数	日	365	365	-	365	366	365	365
外来診療日数	日	242	242	-	243	243	243	243